

## ■お礼のことば

「広重賞 第18回恵那市こども版画コンクール」作品展が今年も開催できますことに感謝申し上げます。恵那市内のこども園・保育園、小・中学校、特別支援学校の皆さまが、限られた時間の中で工夫を重ね、表現した作品を中山道広重美術館で展示公開させていただきます。ご多用の中、園や学校で、ご指導いただいている先生方のご努力に心から感謝申し上げます。

また、ご後援いただきました恵那商工会議所、恵那市恵南商工会、恵那市商店街連合会、(一社) 恵那市観光協会、(公財) 恵那市文化振興会、恵那市小中学校校長会、明知鉄道(株)、(公財) 日本大正村、恵那ライオンズクラブ、恵那ロータリークラブ、(一社) 恵那青年会議所、その他関係者各位のご支援に対し、重ねてお礼申し上げます。

## ■版画コンクールへのねがい

こども園や低学年の作品にも、個々の工夫が活かされた作品が多くなり、受賞作品も生まれています。身近なテーマを見極め、主張して表現する面白さや楽しさが作品を通して伝わってきます。

指導する先生方の気配りが、個性を生かす作品を完成させてくれています。想像すること、思ったことを画面に描き表し、それを作品のレベルまで進める指導をすることで、こどもが基礎を学習し、自分の作品づくりの楽しさを学ぶことができるのでないでしょうか。

### 第18回恵那市こども版画コンクール審査会を終えて

本コンクールにおいて、今年度は34のこども園、保育園、小・中学校、特別支援学校から2,718点の応募があり、このうち170点が特別賞、奨励賞、入選に選ばれました。今年度は特別条件の厳しい中、たくさんの作品をお寄せいただきありがとうございました。(前回第17回展 出品点数 3,002点)

## ■作品審査の現場から

作品審査は昨年同様、新型コロナ感染予防対策のため、審査会場は恵那市消防防災センター3階の防災研修室をお借りして実施しました。審査は、16名の審査員がこども園・保育園、小学1・2年、小学3・4年、小学5・6年、中学校と5ブロックに分かれて行いました。会場いっぱいに広がる作品の前で、審査員たちは言葉を交わしながら、1点1点丁寧に作品を選んでいきました。

始めに入選総数を選出し、その入選作品の中から奨励賞と特別賞候補の作品を選びます。(入選作品の選出には、見落としがない事を再度確認し、進めています。)

その後、奨励賞と特別賞候補を選び、その中から特別賞、奨励賞の作品評価を審査員全員で進めます。最終特別賞の選出については、審査員一人ずつ自分の選んだ作品についてどのような評価をしたのか具体的な説明をし、意見交換の後、挙手によって上位作品から決定していきます。このように、厳しい審査の過程から選り抜かれた作品たちには、私たちの心を動かすものがあります。

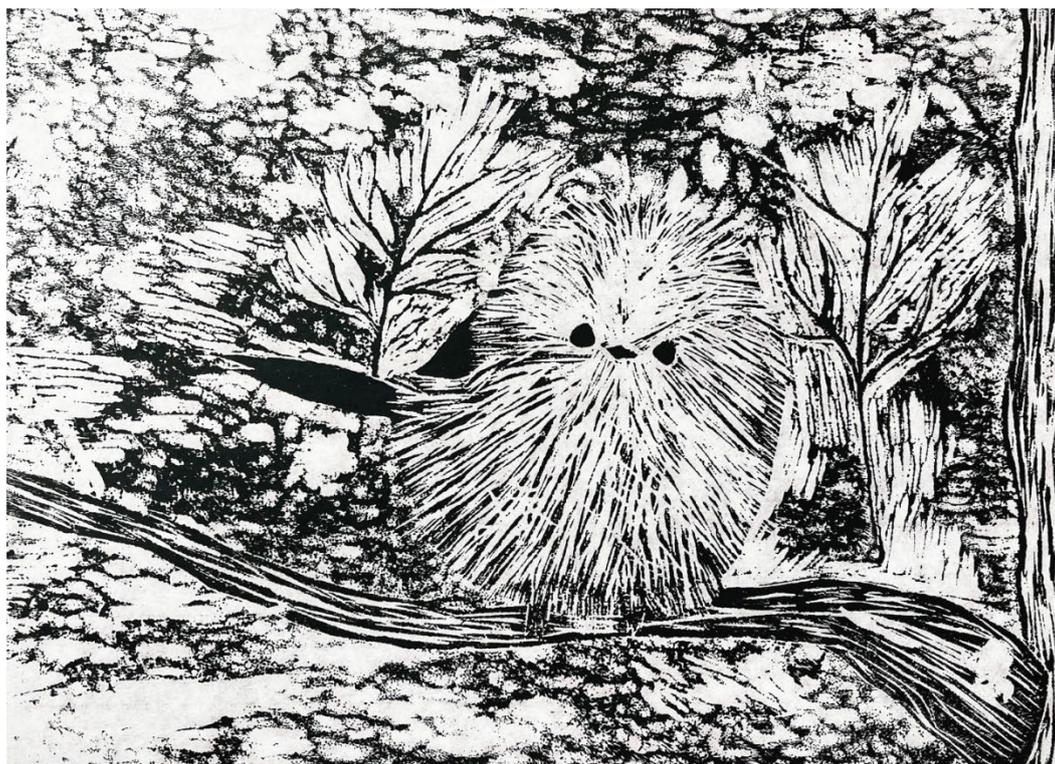
今年度は、紙版画作品に多様な表現が見られました。スケールが大きく大胆な作品が目立ちました。指導が行き届いている様子がうかがえます。特に摺りの仕上がりが美しく、作品の完成度が高く好感が持てました。くらしの中から生まれた作品も多くなり、楽しかったことや、うれしかった思い出が作品となっていました。ロータリークラブ会長賞を受賞した黒柳世夏さん(三郷小学校5年)作「がんばったソーラン節」では、踊りの中に波や魚を表現し、作品ににぎわいや思いを摺り込みました。広重賞を受賞した後藤美空さん(大井第二小学校5年)作「恵那山にすんでそうな鳥」からは、くらしの中で大切にしている自然の豊かさや、季節の変化を楽しみ、共に生きている作者の感謝の気持ちが伝わってきます。

## ■その他

全体的に作品が同じテーマでも、個性が見えてきています。大胆に画面から飛び出しそうな作品、完成度の高い作品など、審査員の評価も高く、じっくり完成させた作品や、高度な彫りが作品の豊かさを高め、評価された作品も多くありました。コロナ禍に負けず作品づくりを頑張った出品者の皆さま、ご指導いただいた先生、家族の皆さまの支援に心から感謝とお礼を申し上げます。これからも子どもたちと一緒に版画を通した恵那の文化が発展することを願っています。第18回恵那市こども版画コンクールが実施できたのは、教育委員会、こども園、幼稚園、小・中学校、先生、中山道広重美術館と実行委員会が目的を明確にしながら進めてきた結果です。恵那市の誇りであり、子どもたちへの財産です。

実行委員会として指導者と園児、児童、生徒が共有できる版画づくりのマニュアルづくりを進め、更に一歩進んだ版画と出会えるまちを、世界に発信したいものです。

文責：永谷 繁明（実行委員長）



第18回広重賞受賞作品「恵那山にすんでそうな鳥」大井第二小学校5年 後藤 美空さん 作

第  
18  
回

# 広重賞 恵那市こども版画コンクール 広重賞作品展

会期  
令和4年  
2022年

2月25日(金) - 3月13日(日)

中山道広重美術館展示室 2(2F) ※観覧無料

※ご入館の際は受付に  
お声がけください。

主催：恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館  
後援：恵那商工会議所、恵那市恵南商工会、恵那市商店街連合会、(一社)恵那市観光協会、(公財)恵那市文化振興会、恵那市小中学校校長会、  
明知鉄道(株)、(公財)日本大正村、恵那ライオンズクラブ、恵那ロータリークラブ、(一社)恵那青年会議所

同時開催  
企画展

はるかかなたを思い描く

— 六十余州名所図会から —

会期

2022(令和4年)

2月23日(水・祝) - 3月27日(日)

●こちらの企画展は観覧料が必要です：大人 520 円 (20 名以上の団体は 420 円) △18 歳以下無料 展示室 1(1F)

中山道広重美術館  
Hiroshige Museum of Art, Ena

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町 176-1 TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322  
HP <https://hiroshige-ena.jp>

広重賞 第18回恵那市こども版画コンクール

入賞・入選数：特別賞 18点、奨励賞 28点、入選 124点 (総出品数 2,718点)

作品展：2021年2月25日(金)～3月13日(日)

中山道広重美術館 展示室 2(2F)

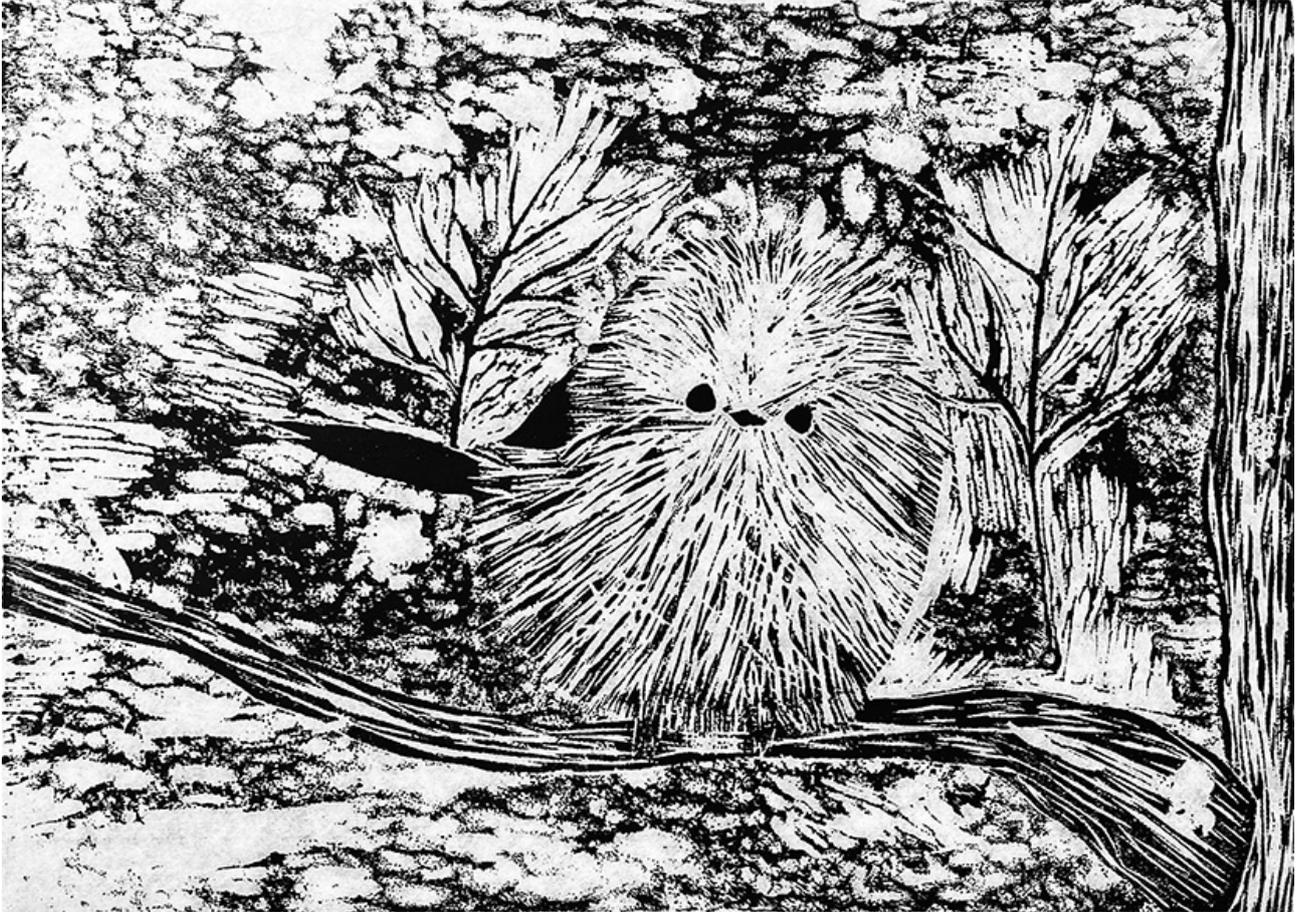
表彰式：2021年3月6日(日) 午後1時30分～、2時～(2部制)

中山道広重美術館 講座室(3F)

# 広重賞

## 「恵那山にすんでそうな鳥」

大井第二小学校 5年 後藤 美空 さん



ふるさとの豊かな自然の中に見つけた物語。雪の妖精ようせいと言われる「エナガ鳥」を、繊細なタッチで描き、一方、止まり木などは力強く表現している。紙面全体に広がる雪の表情は、白と黒のバランスに配慮はいりよするなど、彫刻刀ちようこくとうで見事に表している。構図のバランスも良い。エナガの優しい眼差しまなざし、羽毛の繊細な表現、雪の柔らかな質感やわにも、彫りの工夫や摺すりに配慮した作者の気配りが、白黒版画の楽しさを一層際立たせ、美しさいっそうと空気までも物語にした。心温まる作品だ。

## 恵那市長賞

### ゴンとおそうしきのようす

岩邑小学校 4年

森本 宝志郎 さん



ぼちの六じぞうのかげにかくれて、そう列を見ているゴン。「ごんぎつね」のひとまくが、いっばん多色ずりであざやかにひょうげんされています。手前のごんやじぞうは、ほりの線が太くしっかり出ていて、そんざい感があります。また、黒はん画紙の上に白を生かした色やどうけい色を重ね、ゆたかなしきさいを出しています。弱い線と輪かくをとらえた色のおき方で遠くを表し、中に広がる草原の緑に、点々と赤をのせてすり重ねたひがん花のひょうげんも見事です。

## 恵那市議会議長賞

### もっと大きくなれ！

岩邑小学校 2年

加納 太葵 さん



がめんいっばいのびやかに、自分のぎょうそうでもって、風船のうごきとぼうちょうのかのうせいをせっとく力のある力強さでひょうげんしようとうふうしました。ぜんめんのゴム風船は、けんめいにふくらまそうとする太葵さんにていこうしながらも、かならずきっと大きくなるというきたいを見せます。力むほっぺたにはったきよく線とさか立つかみの毛の直線は、シンプルがゆえにこうかてきです。風船とりょうがわにかけたゆびと、顔のはいちきよりかんは、二年生ながら自分なりの遠近ほうをつかってみたみごとなこう図です。

恵那市教育長賞

うちのネコ

三郷小学校 3年

工藤 瑛斗 さん



この作ひんでさいしょに目が行くのが、中心にいるネコのそんざいです。茶色をつかい、毛なみや顔のひょうじょうにまで気をくばっています。そして、三どすり(ぜん体→ネコ→右手のじゅんにする)のぎほうを使うことにより、おく行きをかんじさせます。瑛斗さんの、顔をかしげやさしくネコを見つめる目、しっかりだきしめるりょう手、こしをひくくしてふんばるりょう足が、あたたかくおちつきのある作ひんにしています。見る人を引きつけるみりよくてきな作ひんです。

中山道広重美術館館長賞

ずっとずっとだいすき

岩邑小学校 1年

森川 莉子 さん



まず、さくひんぜんたいのバランスがとてもよいとおもいました。うさぎをかかえるうでのかたち、うさぎの手足のかっこうなど、よくかんさつしていますね。ちょっとひらいた口や、すこしかたむいたあたまが、うさぎにたいする「だいすき」という気持ち、かわいいとおもう気持ちをあらわしているようです。きょんとしたひょうじょうのうさぎとのひかくもいいなとおもいました。

## 恵那市文化振興会会長賞

### 楽しいーりん車

串原小学校 2年

安藤 はな さん



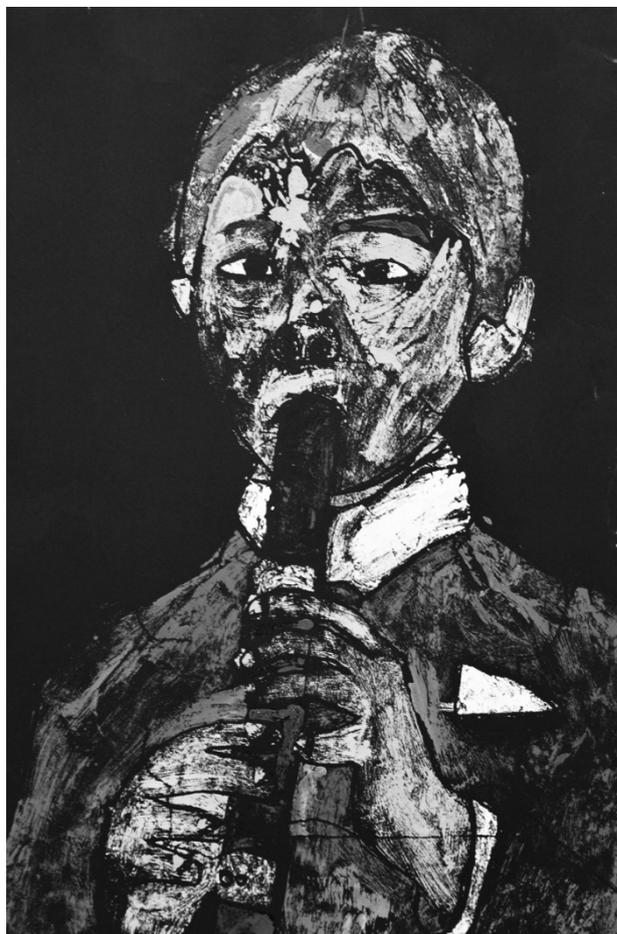
ーりん車にのっているところをうまくひょうげんしています。顔は後ろをふりむき、うまくのっているだろうってじまん気にほほえみ、りょう手は手のひらを広げ、バランスをとっています。ななめのこう図でうごきをあらわし、人ぶつはちぎって、ーりん車車は切りはりして、うごきの中にあんていかんがあります。すりもきれいで、よい作ひんです。

## 恵那商工会議所会頭賞

### 合格へ！

串原小学校 3年

石原 陽向 さん



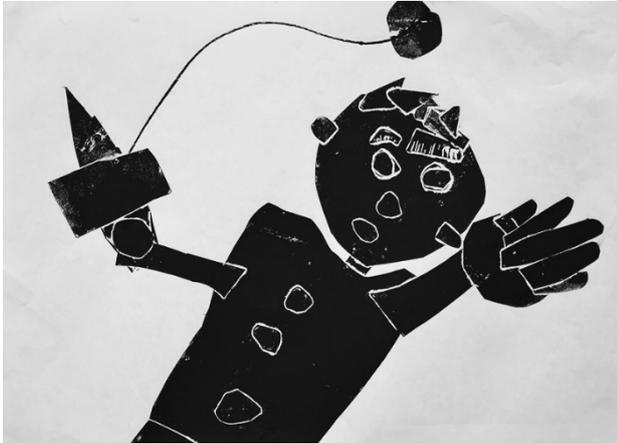
「ぜったいに合かくするぞ！」といった強い気持ちがつたわってきます。一心にリコーダーをえんそうしている自分を見事にひょうげんしています。色をまぜて自分の色を作り、たんねんに色をすり重ねています。はだの色には白色をほどよくまぜたり、かみの毛は黄色を中心に近い色合いを重ねたり、水かげんを工夫したりしながら、よりよいすりをついきゅうしています。また、目や服のえりの白色と、服の青みのかげんがよく、美しさがあり、作品としての力強さを感じます。

## 恵那市恵南商工会会長賞

### けん玉 大好き！

串原こども園

安藤 要仁 さん



けんだまが、いきおいよくげんきにとんできますね。げんきにとんだたまにおどろいて、ななめになっているからだ、おどろいているめ、くちがとてもいいです。けんだまのいとのせんがなめらかで、たまがとんでいるようにみえてきれいにできています。おおきくてしっかりしたてでいいですね。とんだたまをとろうとしたのでしょうか。けんだまもしっかりしていて、いいですね。ようじんさんが、けんだまがだいすきなことがよくわかるいいさくひんです。これからも、たのしくけんだまをしてくださいね。

## 恵那市商店街連合会会長賞

### 100ねんまえのつよい まぼろしの ワシ

明智こども園

梅村 一颯 さん



がめんいっぱいにおおきくひろげたつばさに、おなじようなかたちをしたはねを、ひとつずつついでいねいにつなぎあわせたことが、リズムをうみだし、せいめいをうみ、いきいきとしたワシになりました。それはうみをおよぐイワシのたいぐん、あきのかぜにゆれるいなほ、おなじせいしつのものがたくさんあつまると、あらたなせいめいがうまれるということとおなじですね。

恵那市商店街連合会会長賞

力強いポーズ

長島小学校 5年

近藤 奏人 さん



運動会での自身の<sup>すがた</sup>姿を写した作品で、切れのある<sup>しゅんかん</sup>瞬間を上手く<sup>とら</sup>捉えている作品である。練習に練習を重ねて、本番で最高の演技が出来たことが作品を通じて伝わってくる。画面一杯の構図の取り方も良く出来ていて、<sup>す</sup>摺りもまずまずの仕上がりである。白黒版画で大切な白黒のバランスも良く、白黒版画の<sup>みりよく</sup>魅力が十分<sup>はっ</sup>発揮されており、作品名通りの出来映えである。

恵那市観光協会会長賞

絵本「じごくのそうべい」から

そうべいさんの はりやまわたり

ルンビニー保育園

酒井 蓮 さん



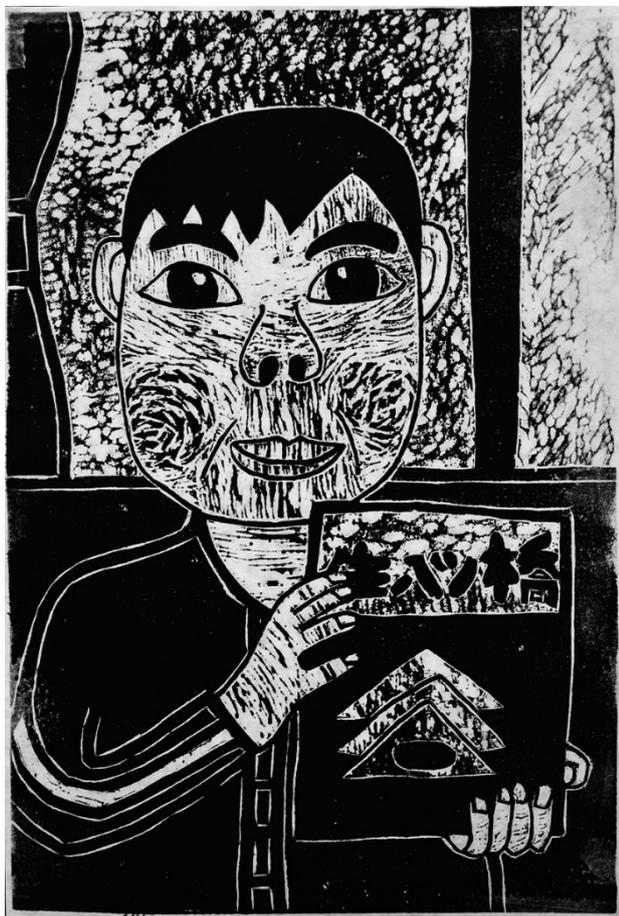
『じごくのそうべい』は、わたしもだいすきなえほんです。れんさんもわらったり、わくわくしながらおはなしをきいたのかな？はりやまにあしをおいて、びよんびよんわたるそうべいさんをとともじょうずにあらわしましたね。まゆをあげてめをみひらき、ふみだしたみぎあしやりょうてからは、ちからづよさがつたわってきます。ふんどしいちまいのそうべいさんのすがたもいろいろなおおきさのはんでいてねいにつくられています。おもわず「そうべいさん、がんばれ！！」といたくなくなってしまおうさくひんです。

## 恵那市観光協会会長賞

「おみやげを買ったよ！」

明智小学校 6年

春日井 秀征 さん



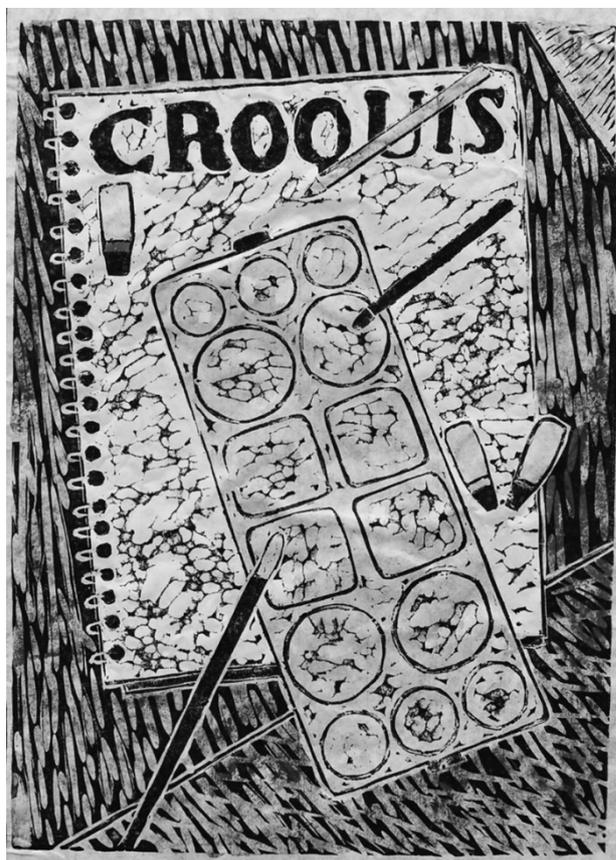
修学旅行の思い出を収めた一枚。表情から、楽しい修学旅行であったろうことがうかがえる。楽しかった顔は平面的にほるのではなく、ほほをふっくらと見せるよう考えてほられている。生八ツ橋の箱をかかえる手の指の形もしっかり観察し、とらえている。屋外と屋内の白と黒のバランスもよい。窓の外には光があふれているかのようだ。箱の文字も逆さまにならないようはいりよされている。

## 恵那市小中学校校長会会長賞

美術の時間

上矢作中学校 1年

井出 紗夕 さん



クロッキー帖<sup>ちょう</sup>とパレットと絵の具を描いたものである。細部にわたり丁寧<sup>ていねい</sup>に制作されている。ポップな感じがして色合いも柔らかくおしゃれである。彫刻刀の使い方も主に丸刀を使っているが、彫りがクロッキー帖の表紙の彫り方とバックの彫り方を変えてあり見事である。パレットに残った色も淡く多種類で優しい。この作品から題材をきちっと見る作者の堅実<sup>けんじつ</sup>な性格が現れている。クロッキー帖を開くと爽やかな版画の元絵が出てきそうである。

## 明知鉄道社長賞

響け、岩村太鼓

岩邑中学校 2年

小栗 和奏 さん



題材に住んでいる地域や伝統演技を取り上げたことで構図にも思いが表現されている。打ち手(自分)を中心に置き、太鼓は前面背面にのぼり旗。人物の顔の表現は見開いた目と、声を出している口によって打ち手が力を込めている事が分かる。左手を大きく、振り上げた右手を小さく表すことで遠近感を出している。彫りは白黒の割合を考えておりバランスもよい。バチを持った手の彫りには中学生としての技術の成長が見られる。

## 日本大正村理事長賞

やっしょー！まかしょー！

明智小学校 3年

堀 花帆 さん



花帆さんは「運動会」で花がき音頭をおどったのかな。がんばった様子が画面から感じられます。紙いっぱい人物を入れたことがよかったですね。かさに黄、赤をくわえ、くふうしたこともよかったです。はん画作りで大切な「画面にどのように入れたらよいか」ということが、きちんとできました。次に、黒インクがムラなく美しくのっています。はんがで大切なすりがうまくできました。かみの毛、指先のひょうげんに細かなしんけいを使って作ったことがうかがわれます。りっぱな作品ができましたね。

恵那ライオンズクラブ会長賞  
にらめっこ王はぼくだ！

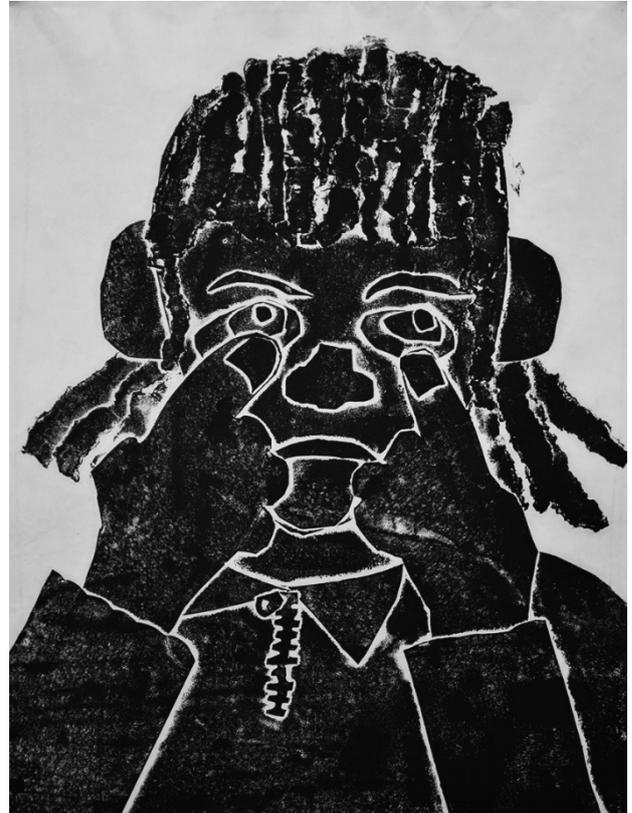
三郷小学校 4年  
水野 碧人 さん



全体てきにひょうじょうが力強く、白黒のバランスを上手く使っている作品です。顔のほり方も同一方向ではなく、方向を考えて立体感を出し、ひょうじょうが細かくひょうげんできています。手をそえたことが、画面に動きを出し、かみの毛の流れは、三角刀を使ったことでせんさいな丸みが出ています。また、したや服などのぼかしぼりもこうかをはっきしています。見ている人が思わずわらわずにはいられない、にらめっこの楽しさが伝わる作品です。

恵那ロータリークラブ会長賞  
あっかんべー

長島小学校 2年  
遠藤 あかり さん



顔や手など体のバランスがとてもよいです。顔のひょうじょうを作ろうとすると、どうしても頭のぶぶんが小さくなってしまふことがあります。遠藤さんの作品は顔と頭のバランスのとり方が上手です。顔を動かしたときに、顔の見え方はどのように変わるのかということがりかいてきていて、すごいと思いました。また、一つ一つのはんが、はさみでていねいに作られています。その上で、あえてかみの毛だけを手でちぎったはんが、いいアクセントになっていますね。

恵那青年会議所理事長賞

がんばったソーラン節

三郷小学校 5年

黒柳 世夏 さん



ソーラン節は北海道の<sup>みんよう</sup>民謡で、ニシン漁をする漁師たちの仕事歌である。恵那市では小学校5年<sup>ごろ</sup>頃に運動会で<sup>おど</sup>踊ることが多く、黒柳さんは運動会でソーラン節を踊った時の様子を作品にした。<sup>あみ</sup>網を引き<sup>あ</sup>上げる振りをする黒柳さんたちが、やや上からの<sup>してん</sup>視点で表わされている。その場所は運動場であるはずが、大海原になっている。波の間からはタイやカジキマグロらしき魚が飛び上がっている。現実と空想が混ざったような不思議な世界が生まれている。

※選評について

作品に添えられた選評は、受賞者の年齢に応じて、ひらがな表記またはルビ表記をしています。